



PICK
UP!

今年度も各地域で防災訓練が 実施されました！

片山地区



令和2年度に結成された片山地区自主防災対策委員会として初めての訓練でした。幅広い年齢層の方や女性の参加者も多く、また内容としても防災講座・消火訓練・資機材確認など充実したものとなりました。

第1回目の開催として、組織委員の方々が各役割に応じて訓練に取り組むことを盛り込んでいたことも今後の防災組織発展に大変期待が持てるものでした。



↑資機材確認。あるだけでは意味がない！使い方を把握しておくことが大切です。

東山田地区

集合場所から受付、避難所までの動線を事前にしっかり定められている点がとても素晴らしい訓練でした。

パーティー、段ボールベッドの組立など実務的な内容だけではなく、参加者をグループ分けし、訓練に対する意見や感想を話し合う時間があったことも良かったです。



↓地区独自の避難所レイアウト



地区独自で避難所のレイアウトや避難所運営マニュアルなどを作成し、それに沿った訓練が実施されました。大変な労力を要することなので常日頃から防災について考えていないとできないことだと思います。

補助金活用事例トップ3

- ①防災倉庫（物置）
- ②衛生用品（マスク、消毒液など）
- ③防災講座講師謝礼

令和4年度も引き続き補助金交付事業を実施しますので、上記の事例を参考にして積極的に活用してください！

おっ！となる活用事例

- 地域防災マップ作成・印刷費
- 防災センター見学・交通費
- 発動発電機

自主防災組織間情報交換会を開催しました！

令和3年11月25日(木)に自主防災組織間情報交換会を開催しました。19時からと夜遅くの開催となりましたが24地区39名の皆様に御参加いただきました。

第一部では、3つの自主防災組織に具体的な取組状況を発表していただきました。先進的な取組、地域の特性や課題を踏まえた取組などを共有することができました。



活動内容の発表

- ①桃山台地区 地域特有の取組と課題
- ②山二地区 地区メールの導入と活用事例
- ③五月が丘地区 コロナ禍における防災活動と単一自治会の防災活動

第二部では、8つのグループに分かれて意見交換を行いました。防災訓練の内容や防災活動の推進、補助金の活用方法などといった情報の共有を行い、それぞれの地域の課題を考えていただくきっかけになったと思います。

アンケートでは、回答者のほぼ全員が「有意義」と回答され、また、今後の実施希望も多く寄せられました。自主防災組織の活動を活性化するためにも、今後も定期的を開催していきたいと思います。

発表していただいた地域の訓練

五月が丘地区

コロナ禍での実施ということもあり密を避けるため、単一自治会ごとに時間差でパーティションの設営を行う訓練を実施されました。

また、受付や本部の設営、各単一自治会との安否確認情報の連絡訓練等、実災害を想定し熟練した訓練を毎年実施されています。



山二地区

仮設トイレ設営・体験↓



山二地区も非常に防災の取組が活発な地域であり、受付から避難所開設まで洗練された訓練を実施されました。

今回の訓練の中で行われた仮設トイレの設置は、避難所の衛生環境を守るためにとても重要です。また仮設トイレの設置に取り組んだことのない地域は、今後の訓練の項目にぜひ入れていただきたいと思います。

CHECK POINT !

広域避難地と一時避難地の看板が新しくなりました！
吹田市指定の広域避難地は9か所、一時避難地は79か所あります。自宅近くの避難地を探してみましょう。



防災ブック・ハザードマップをバージョンアップ予定！

市民に全戸配布している吹田市防災ブックについて、想定最大規模の洪水・高潮のハザードマップと防災ブックを1冊にまとめるなど、より一層内容を充実させてバージョンアップを予定しています！（令和4年度中に完成予定）



自主防災組織の活動についての相談や防災出前講座の依頼は、危機管理室までお願いします。



出前講座依頼書はコチラ！

吹田市総務部危機管理室

TEL 06-6384-1753

FAX 06-6337-1631

Mail bousaisuita@city.suita.osaka.jp